

KDK セミナー2013のご案内

- ◆日 時 / 平成25年10月18日(金) 12:00~18:30 (受付開始11:40)
- ◆会 場 / 北九州商工会議所 大会議室 (毎日西部会館 9階)
http://mai-b-seibukaikan.com/?page_id=22
- ◆主 催 / 九州デジタルエンジニアリング研究会 (KDK)
- ◆共 催 / 北九州商工会議所
 (社)日本機械学会 計算力学部門 九州地区計算力学研究会
- ◆参加費 / 無料 ◆定員 / 100名

《スケジュール》

第1部 12:00~13:00 【司会: NSプラント設計(株) 大木】

12:00~12:05 ◇開会挨拶 KDK 会長 佐賀大学 萩原 世也

12:05~13:10 ◇共催挨拶 北九州商工会議所

12:10~13:00 ◇ランチョンセミナー (昼食を準備いたします。協力: NSプラント設計(株))

e-Xstream Engineering, エムエスシーソフトウェア株式会社
 エムエスシーソフトウェア株式会社

近藤 篤史様
 平林 朋之様

「MSC が提案する複合領域解析技術のご紹介」

(休憩 13:00~13:10)

第2部 13:10~14:40 【司会: (株)JSOL 小川】

13:10~13:55 ◇基調講演1 呉工業高等専門学校 機械工学分野

教授 尾川 茂様

「グローバル化時代の自動車の開発革新を目指した、考え方と計算工学の適用」

13:55~14:40 ◇基調講演2 熊本大学大学院 自然科学研究科

准教授 松田 俊郎様

「電気自動車をもたらす革新について」

(休憩 14:40~14:50)

第3部 14:50~17:45 【司会: (株)黒崎播磨 神尾】

14:50~15:25 ◇事例紹介1 ダッソーシステム・ソリッドワークスジャパン株式会社

山崎 義弘様

「設計者によるCAEの重要性」

15:25~16:00 ◇事例紹介2 日本イーエスアイ株式会社

三邊 考志様

「ESI が提供する OpenFOAM サービスと海外事例のご紹介」

16:00~16:35 ◇事例紹介3 オートデスク株式会社

岩本 康栄様

「Autodesk Sim 360 による最新クラウドシミュレーション」

16:35~17:35 ◇意見交換

17:35~17:45 ◇アンケート記入

懇親会 18:00~ 会費 3,500円 場所: ぶんぷく茶屋 小倉店 tel 093-521-1780

<http://www.hotpepper.jp/str.J000035897/map/>

- ◆駐車場は準備しておりませんので、お車でお越しの方は会場周辺のコインパーキングをご利用ください。
- ◆お申し込みは、下記申込書にてFAX、またはメールにてどうぞ。
- ◆申し込み期限は10月11日。
- ◆お問い合わせは 九州デジタルエンジニアリング研究会 事務局 大木 (NSプラント設計) まで
 TEL 080-4104-6387 FAX 093-882-7655 E-mail : oki.tsutomu@eng.nssmc.com

NSプラント設計 SIES' S部 大木 行 (fax 093 - 882-7655)

(申込み締切り 10/11 (金))

「KDKセミナー」申込書

事業所名		電話番号	
住 所		FAX 番号	
氏 名		懇親会	出席 欠席

講演概要

◇ランチョンセミナー (昼食を準備します。 協力: NSプラント設計株)

e-Xstream Engineering, エムエスシーソフトウェア株式会社

近藤 篤史様

エムエスシーソフトウェア株式会社 ビジネスデベロップメント

平林 朋之様

「MSC が提案する複合領域解析技術のご紹介」

【概要】

① 『Digimat によるマルチスケール複合材料モデリングの概要および Marc・MSC Nastran との連携』

Digimat を用いることにより、複合材料内部のマイクロスケールの現象と構造物のマクロスケールの現象を連成したマルチスケール解析が可能となります。本プレゼンテーションではこのソフトウェアの基本概念と適用事例、および MSC Nastran・Marc との連携についてご紹介します。

② 『音響解析の必要性と最近の動向』

近年、製品の品質として、製品の音が問題になることが多々あります。また、雑音でなく快適な音づくりを製品価値として設計要件とするケースも見受けられるようになってきています。本プレゼンでは音響解析の必要性とどのような解析ができるか、さらに最近の音響解析の動向をご紹介します。

◇基調講演 1 呉工業高等専門学校 機械工学分野

教授

尾川 茂様

「グローバル化時代の自動車の開発革新を目指した、考え方と計算工学の適用」

【概要】

グローバル化時代におけるモノ造りで取り組むべき新しい開発の考え方を提案する。自動車の開発は目標設定・シナリオ構築・構造化・検証の4段階に分かれる。この開発プロセスの中で、開発の思いに相当する目標設定・シナリオ構築の段階は、今後のモノ造りの中心となる領域であり、革新度はこの領域で決定する。

自動車の衝突性能開発を事例に、目標設定の考え方とシンプルなバネマスモデルに置き換え、部品の機能配分を最適化するシナリオ構築について講演する。

◇基調講演 2 熊本大学大学院 自然科学研究科

准教授

松田 俊郎様

「電気自動車をもたらす革新について」

【概要】

電気自動車の普及が始まっているが、その背景、構造と技術について解説すると共に、電気自動車をもたらすモビリティとビジネスの革新について述べる。【別紙参照】

◇事例紹介 1 ダッソーシステムズ・ソリッドワークスジャパン株式会社

西日本営業部

山崎 義弘様

「設計者によるCAEの重要性」

【概要】

3次元CADによる『設計検証』と称して更なるQCD向上のため、改めて設計初期段階によるCAEの重要性を問います。

◇事例紹介 2 日本イーエスアイ株式会社

三邊 考志様

「ESI が提供するOpenFOAM サービスと海外事例のご紹介」

【概要】

昨今、オープンソースが注目を集めております。ESIは2012年にOpenCFD社をグループ傘下に収めました。その背景やESIのOpenFOAMに対するサービスおよび今後の取り組み、また欧州や北米における企業レベルでのOpenFOAMへの取組について事例をご紹介します。

◇事例紹介 3 オートデスク株式会社

岩本 康栄様

「Autodesk Sim 360 による最新クラウドシミュレーション」

～マルチフィジックスアドバンスドシミュレーションまでが低コストで実現～

【概要】

オートデスクは他社に先駆けて低価格クラウドシミュレーション製品「Autodesk Sim 360」を昨年リリース致しました。SaaSをベースとしたPay Per Useモデルによるユーザー様の初期投資の低コスト化と、複数のソフトウェアバンドル構成によって、構造 - 機構 - 熱 - 流体 - 樹脂流動を連成下マルチフィジックス解析が可能となっており、解析初心者からアドバンスドユーザーまで幅広く利用することが可能です。当日はマルチフィジックス解析事例を通してAutodesk Sim 360の効果的な利用方法を紹介します。